



魔
女
狩
り

奴隸娼婦編

物語

魔族と人類が激しく争う時代…

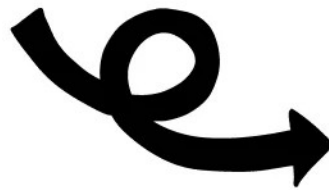
魔界に隣接するローグレン王国は、魔王率いる魔導帝国の侵攻によって滅ぼされた。

王都で冒険者ギルドのギルドマスターを務めていた魔女「ハルナ・ゲートルード」は、冒険者ギルド壊滅後も反魔族の魔道結社「星捧社」の支援を受けながら抵抗活動が続けていた。

しかし、抵抗むなしく帝国の治安部隊に捕縛され、恐るべき拷問を受けることになった…

彼女の持つ情報に大した価値がないことがわかると、拷問は調教へと変わり、彼女の肉体は魔族たちの凌辱を受けるためだけの奴隷娼婦へと作り替えられていった。

長い寿命と強靱な肉体を持つ魔女は、魔族たちにとって最高の「虐待用」奴隷娼婦だった…



魔族はさー、
冒険者や魔女に対してさー
恨み持ってるやつ
多いからさー

ギャギャ

もしかしたら
プレイ中に
殺されちゃうかもだけど…



まあ、ちゃんと蘇生は
してあげるから。

遠慮なく
サンドバックやってよ。

あんまり反抗したり
我慢して声抑えたりするのは
おすすめしないよ。

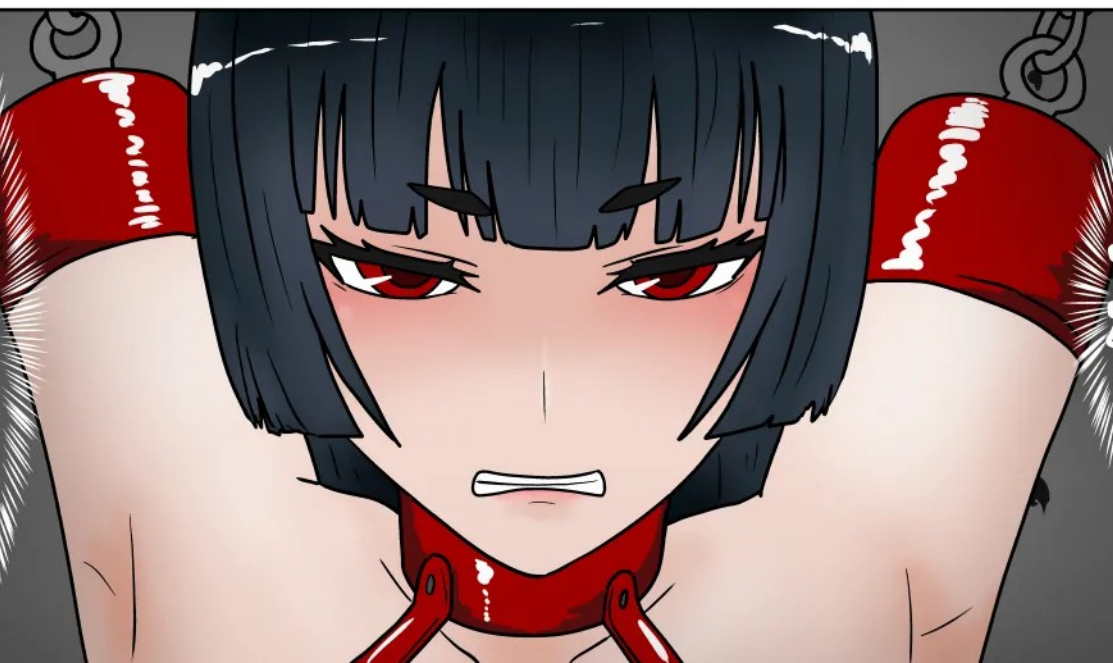
お客は女の子が
いい声で鳴けば
満足するからさ。

長く苦しみたくなければ
いい感じに
泣いて見せるといいよ。



くそが……

絶対に魔族の思い通りに
なるものか……!!





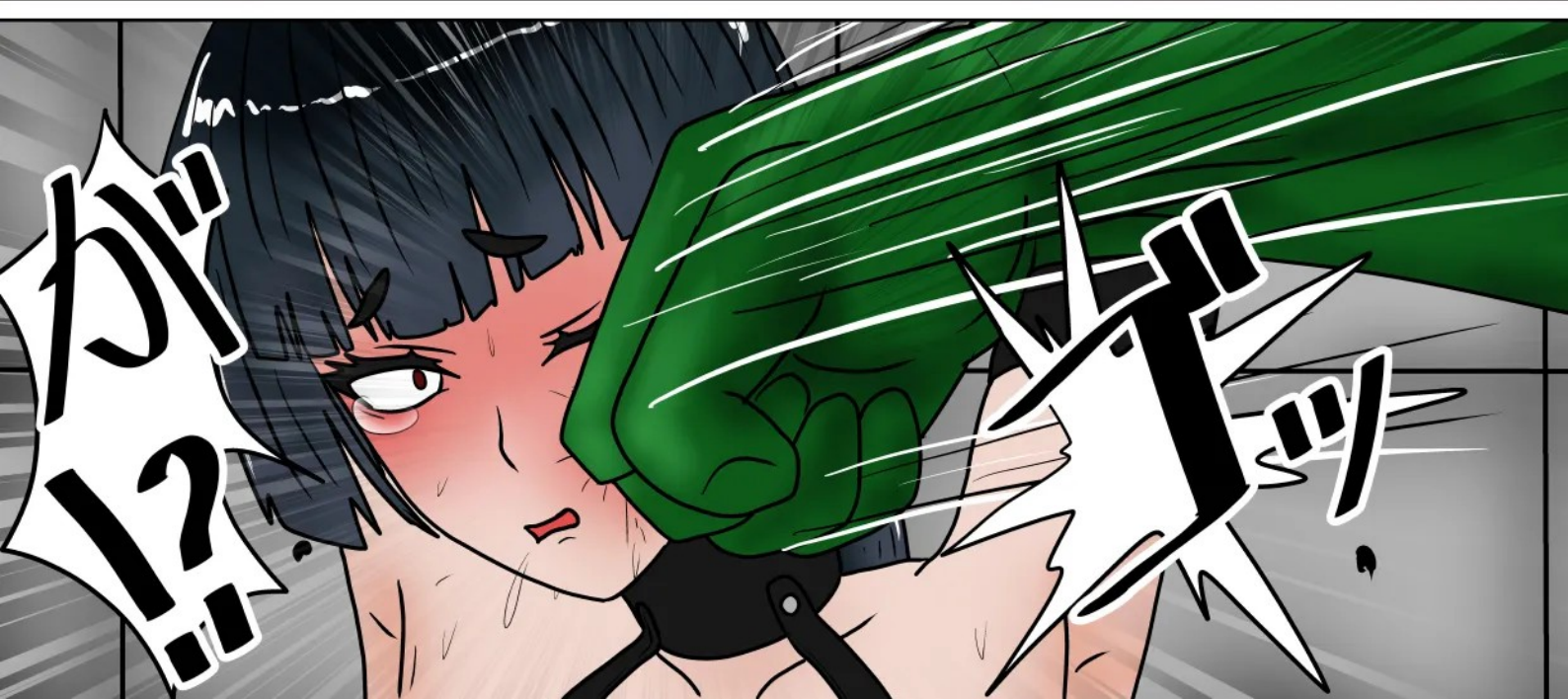
しかし…

私の決意は、
あっという間に崩れ去った。

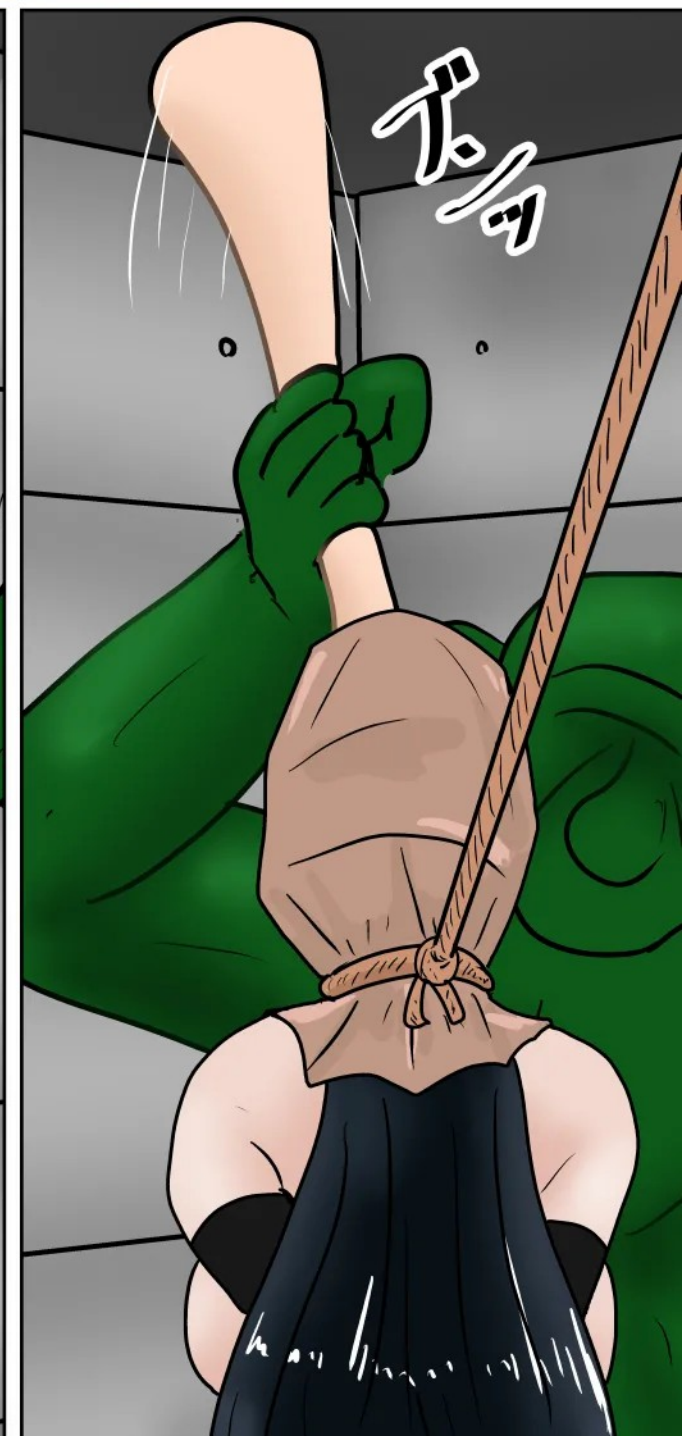
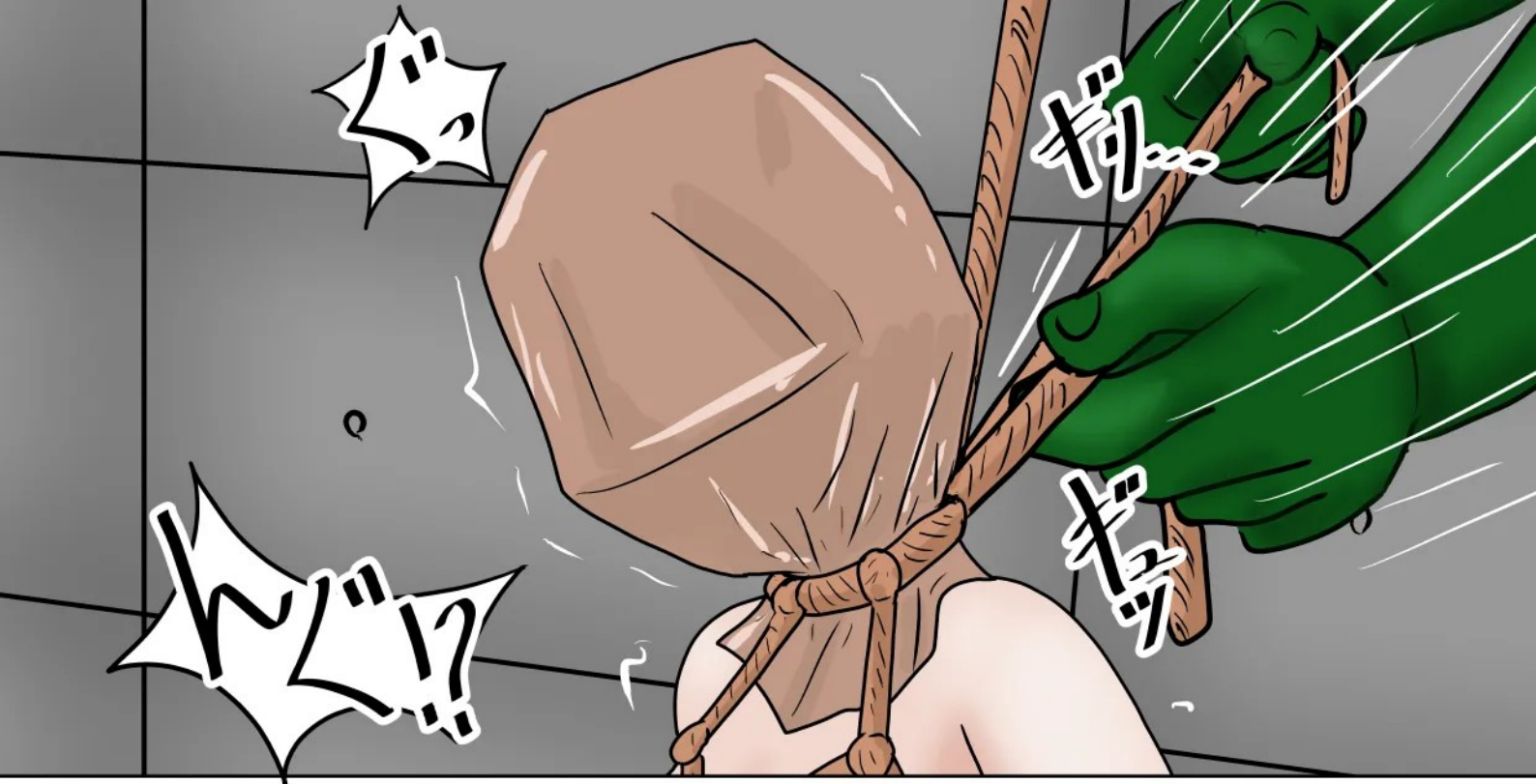














客として来た魔族たちの拷問は、
情報を引き出すという目的がない分、
以前のものより数段苛烈で
容赦のないものだった。













仕事として被害者の状態を把握し、
常にやり過ぎないように
手加減されていた拷問とは違う。

遊びの拷問は手加減など一切なく、
死んでもかまわないという、
無限に残酷な「プレイ」だった。

絶対に魔族には屈しない

絶対に魔族どもが
喜ぶような反応はしない

そう誓った私の心は、

娼館に来てから
3日と経たずに
あっけなく折れていた。

圧倒的な暴力を前に、
プライドなど保ちようがなかった。



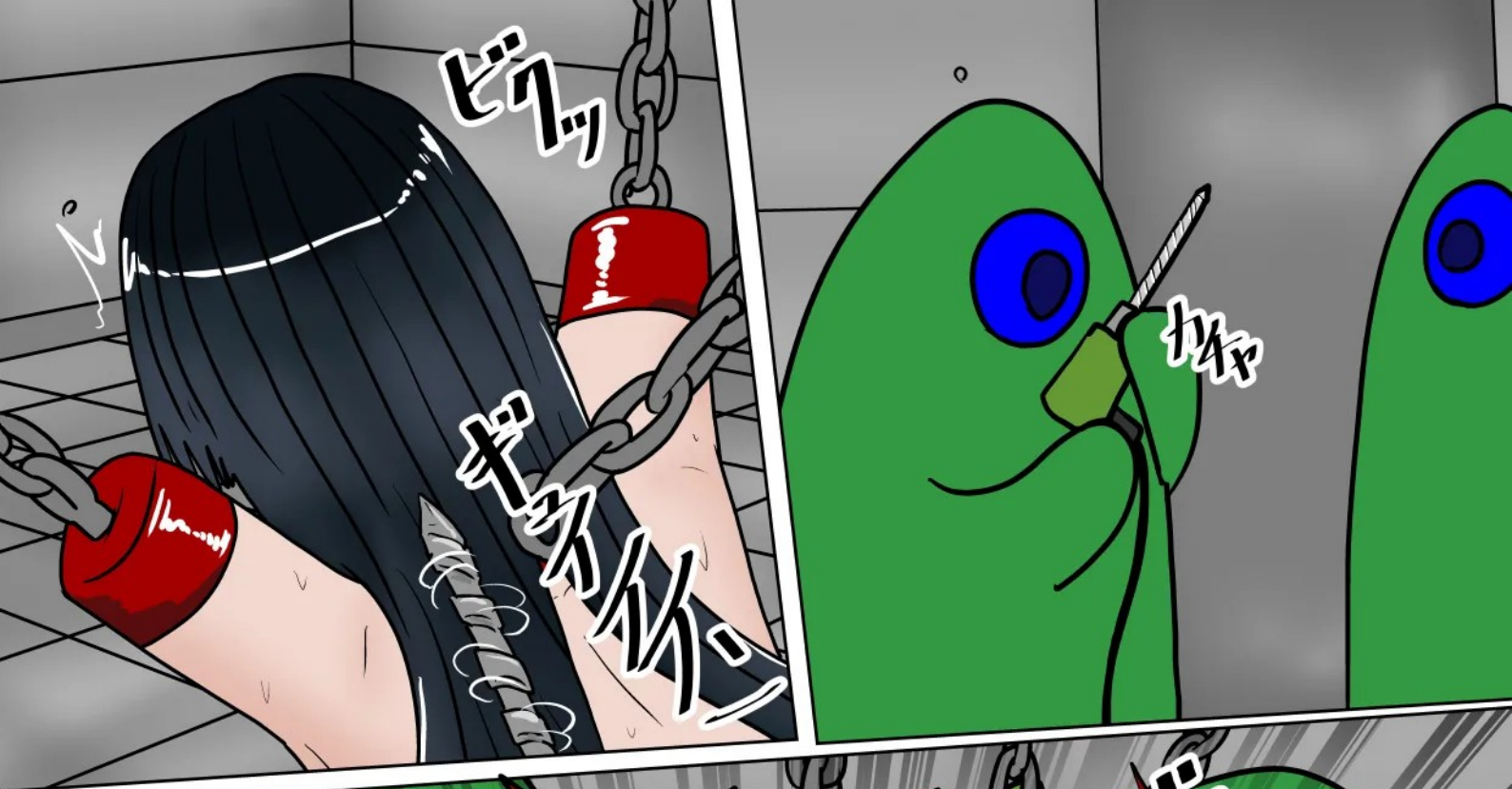
魔道結社の幹部として
数十人規模の魔術師を従えていたことも、
冒険者ギルドのマスターとして
数百人の冒険者を束ねていたことも、



「こ」では何の意味もなかった。

私はただ、ゴブリンに組み敷かれた
無力な村娘のように、
無様に這いつくばって泣き喚くしかなかった。











しかしこんなものは、
地獄の始まりに過ぎなかったのだ。

私を真の意味で
地獄へ突き落したのは、



仲間であると思っていた
同じ人間たちからの凌辱だった。





ヒース!
マルコも!

生きていたのか!



お、マジで
ギルマスいるじゃん。

ほんとに魔族に
捕まっていたんだ。

ドカ
ドヤ



良かった。
王都陥落の混乱でほとんどの冒険者と
連絡が取れなくなって心配してたんだ。

他にも生き残りがいるのか？
急ぎ星捧社と神聖帝国に
救援の要請を...



あーん！

グッ





たっぷりと
楽しませてもらうぜえ

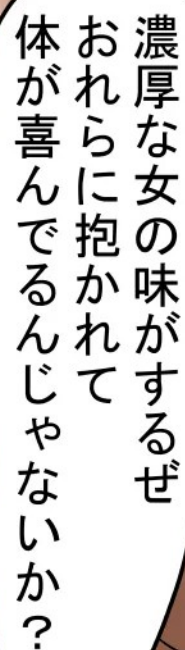
女抱くだけなら
タダみたいにあいこの国で、
1か月分の稼ぎを
突っ込んだんだ。



さるさる

さるさる

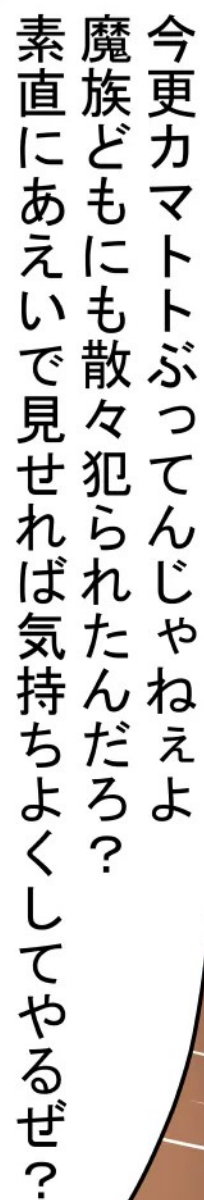




そんな場所……

舐めるなあ……

如



くそ……が！



凶



へん

△₀△₁

ズッ
イヤ



おいおい、
発情中の淫魔みたい
に
またぐらがグチャグチャだぜ！

鉄扉面ののギルマスが
こんなド淫乱だったとはなあ





あー

あ

あ

あ

あ

はあ
はあ

ちゅっ

ちゅる

ごっ
ごっ

ぐっ

ぬっ

ぬっ
ぐっ
ぐっ











時間でーす。

マンコの具合
良かったぜ。

金がたまったら
また遊びに来てやるよ。

お楽しみいただけましたか？

ああ、
大金払った甲斐があったぜ。

私が奴隷娼婦に堕ちたという情報は、
生き残りの冒険者たちに共有されたようだった。

私の客の3分の1は、
魔族ではなく人間になった。

私の客の3分の1は、
魔族ではなく人間になった。

あゝ
わん
ぐわん
ごきりゅん
どちゃ
ぢゃ
ばちや
ぱちや
ぎん
ばん
ずちや



人間たちのほとんどは、
魔族たちのような「拷問プレイ」は
してこなかった。



多くの人間たちは、
媚薬や麻薬を使い、

私をよがり狂わせ、
犯し、楽しんだ。





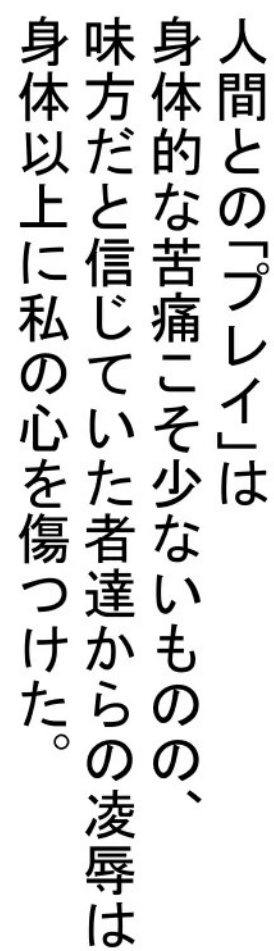






薬物への耐性が高い魔女の体も、
淫魔たちが作り出す高濃度の媚薬を、
安全な使用量をはるかに超えて注ぎ込まれれば、
抵抗することなど不可能であった









多くの人間が噂を聞きつけ、私を抱きに訪れたが、結局、救援要請が星捧社に届くことはなかったようだった。





希望の光に見えた人々は、
絶望の使者だったのだ。

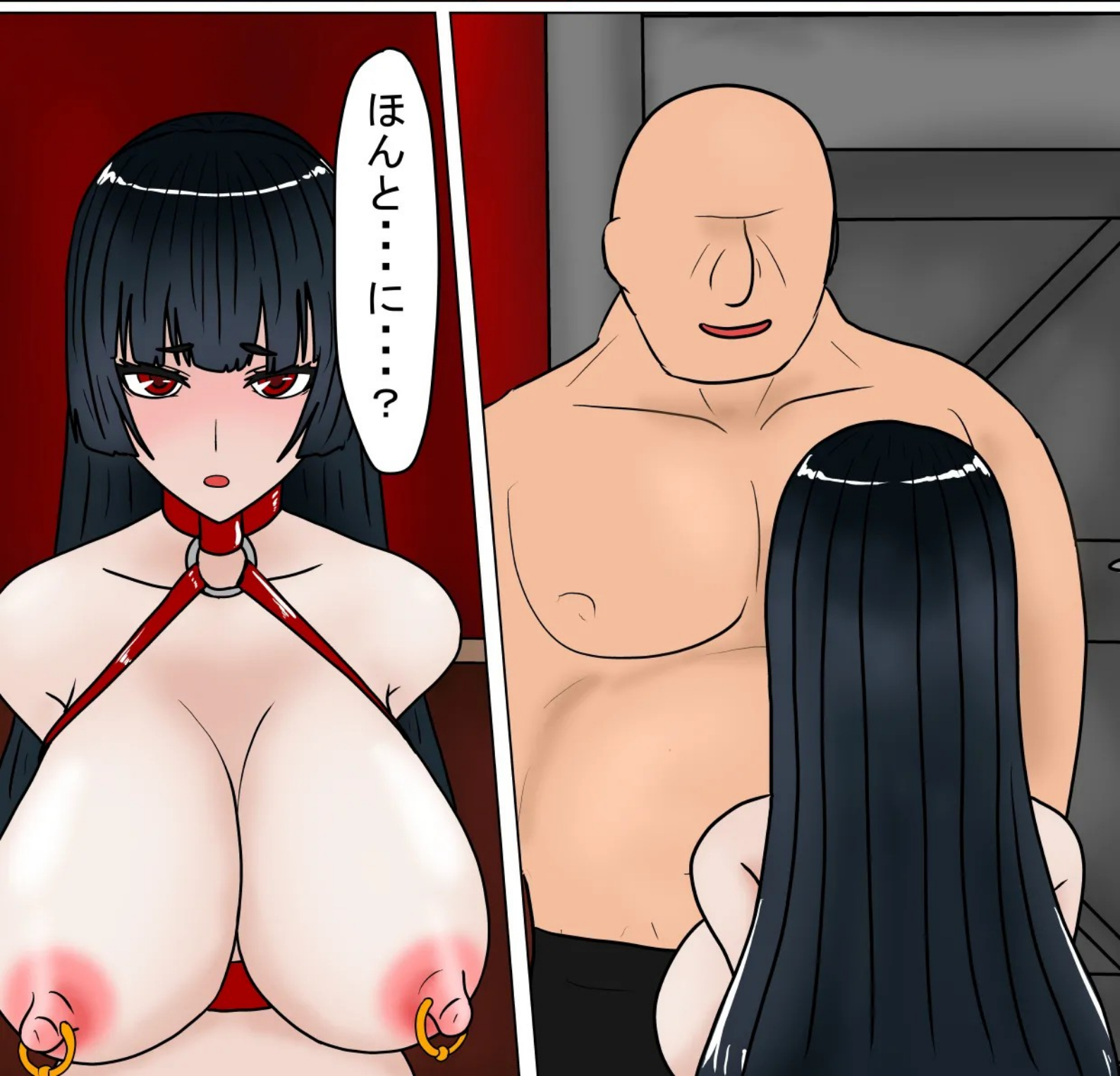


私は、
考えることを、
抵抗することを諦めた……



なあ、ハルナ……

星捧社への連絡、
つけてあげようか。





私の妻になると誓うなら。

無事に脱出できた後……

「この男と……」

〇〇〇〇〇〇

私はお前のことを愛している。
危険な橋を渡ることになるが、
お前を妻にできるなら……

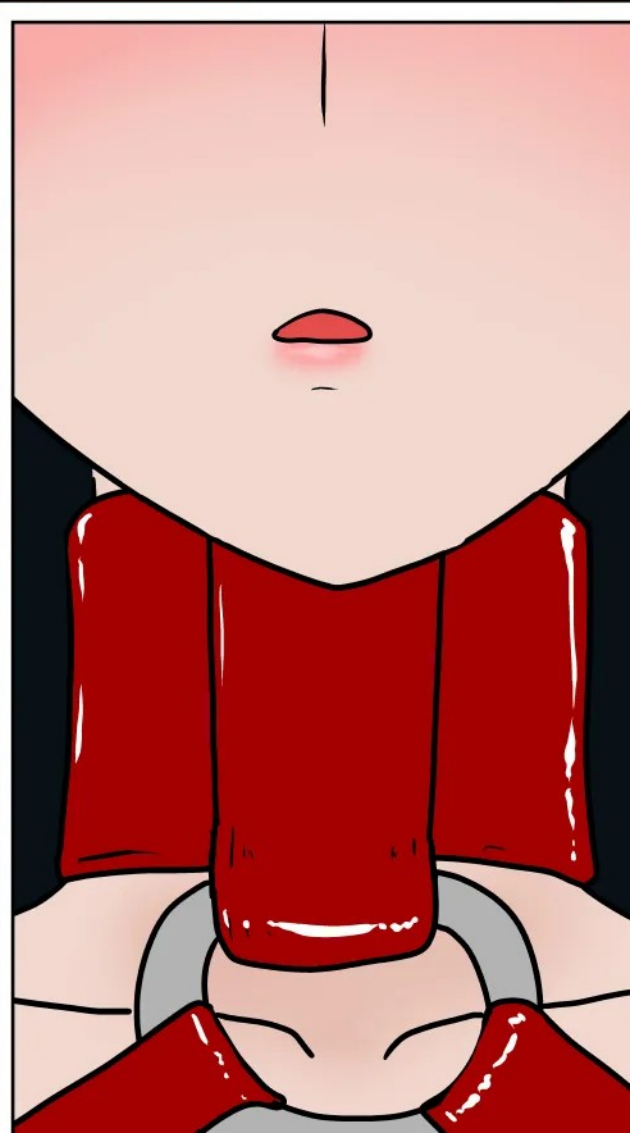


私の気持ちに応えてくれるのなら、
脱出のために力を尽くそう。

□
□
□
□
□
□



…わかった。

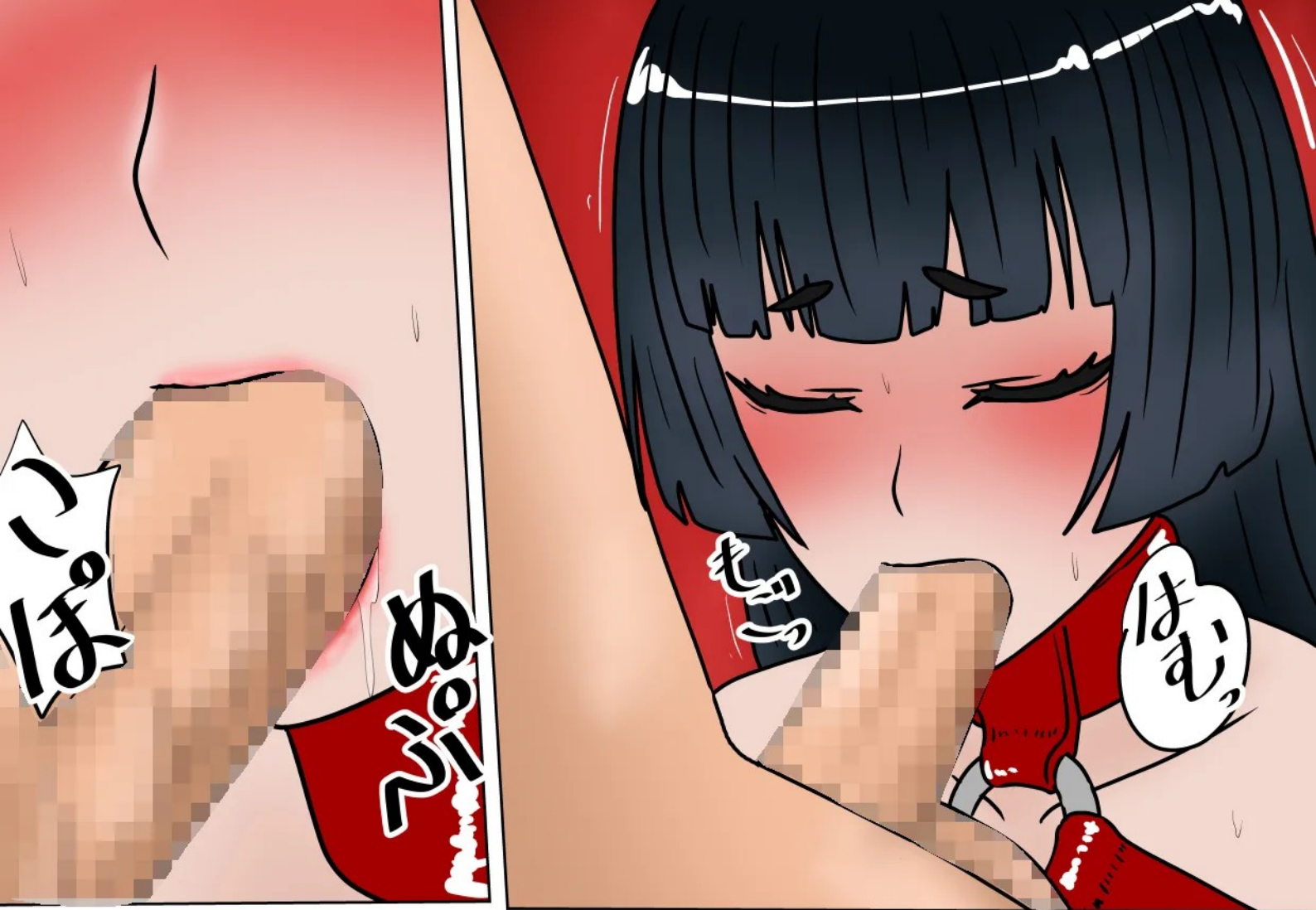


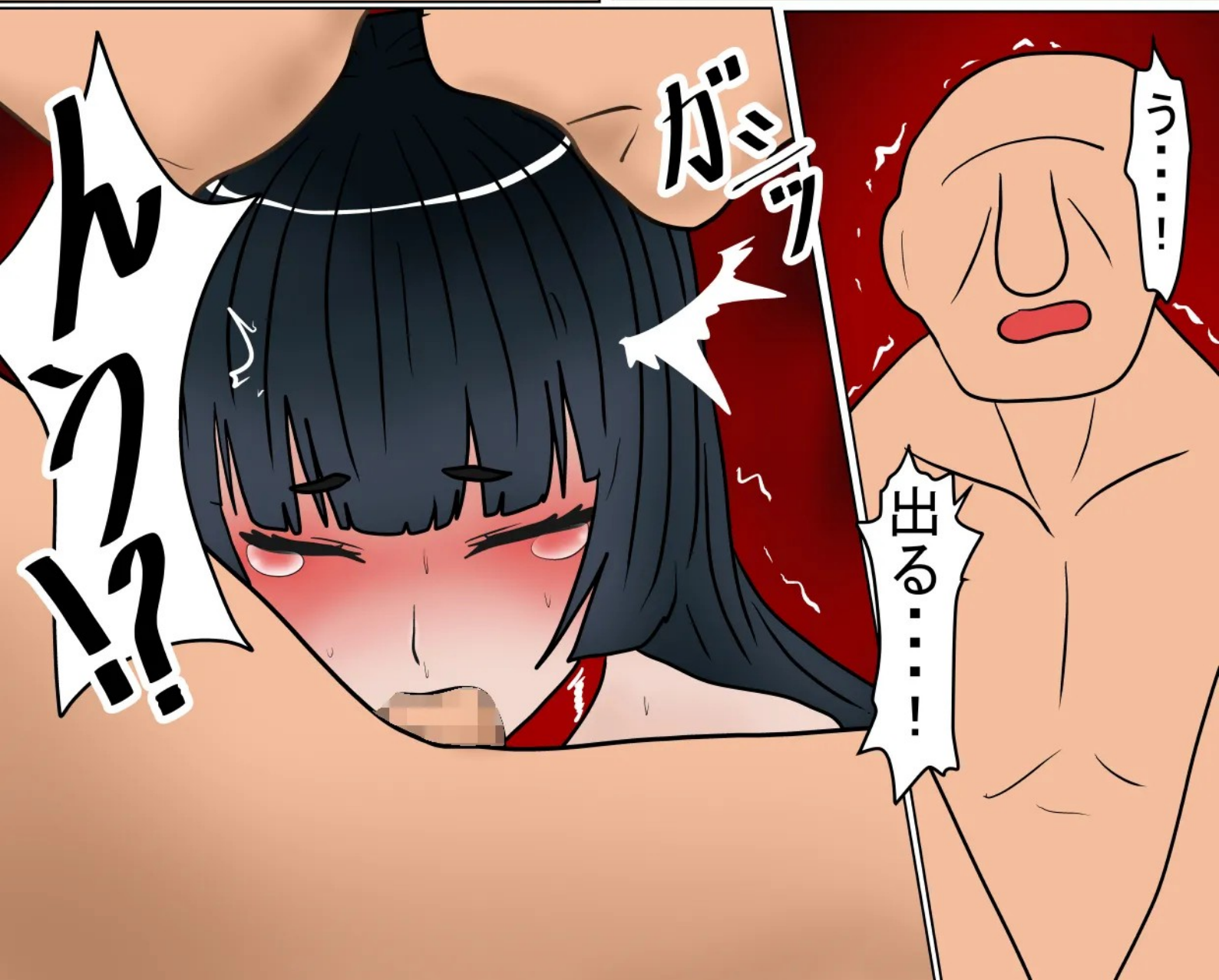
力を貸してもらえるのなら、

脱出の暁には
あなたの妻になりました。











ん？！

ん？

ん？

ん？

ん？







ああ、信じる。
約束しよう。

時間はかかるが、
必ずここから
連れ出してやる。



男は、概ね月に1度の頻度で
私のもとへ通ってきた。

はあ、はあ、

ハルナ…
かわいいよ…

しゃぶって…!!
玉もしゃぶって…!!

ぺちゃ

ちゅう ちゅう

しゃべ

しゃべ

ちゅ。ほ

ちゅ。ほ

ぺち

はむ

んちゅ

んむ

あ

あ

ん

ん

ん

ん

ん

ん









はふあ
はふあ

はふあ

はふあ

はふあ

はふあ

はふあ

が
ー
や
あ

が
が

が
が

く
ち
や
く
ち
や
く
ち
や



しかし、地獄の中に垂らされた
細い細い蜘蛛の糸を……

んぬ

は

はぬ

はぬ

ちゅく

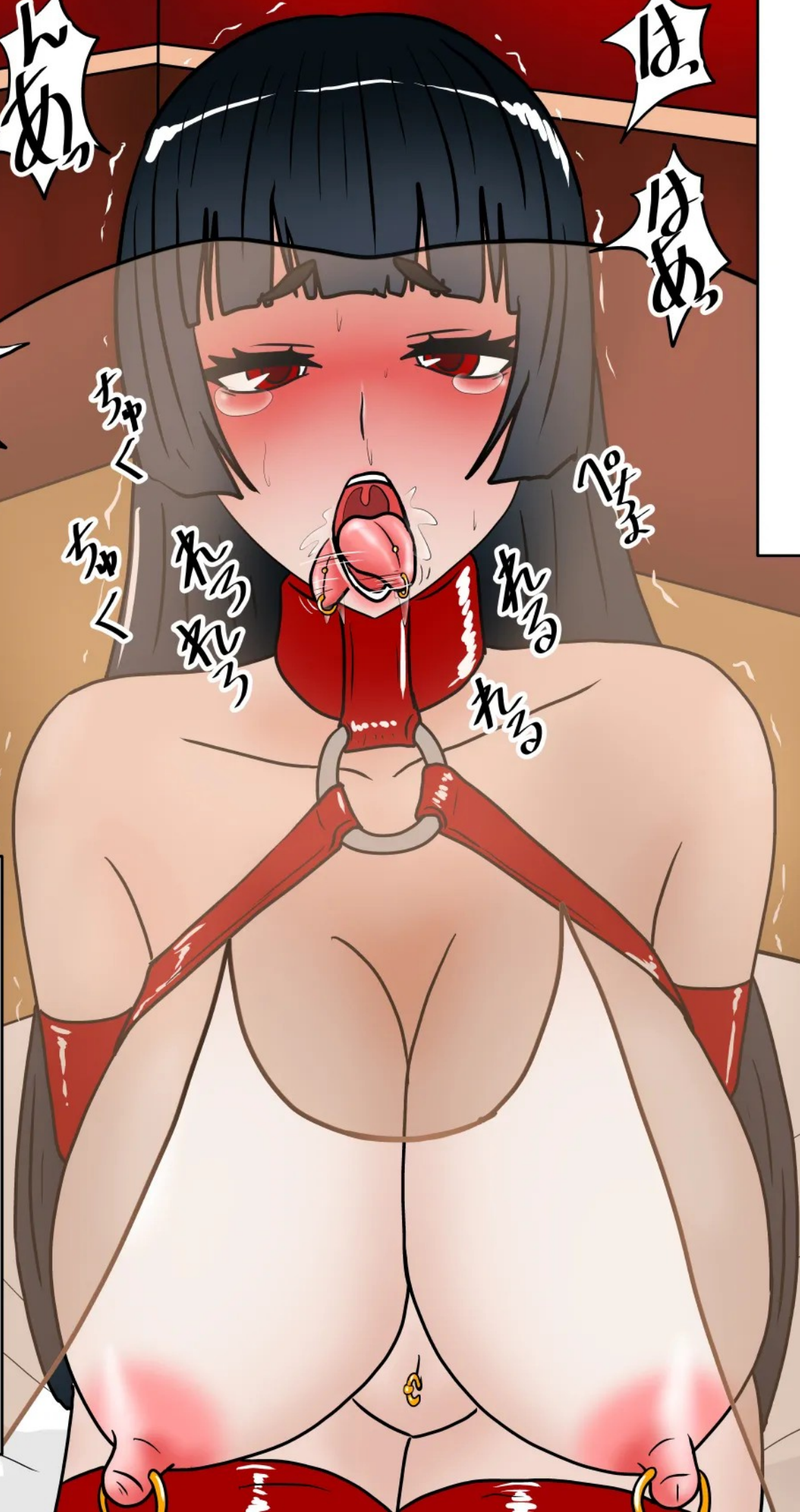
ちゅく

れる
れる

へま

れる
れる

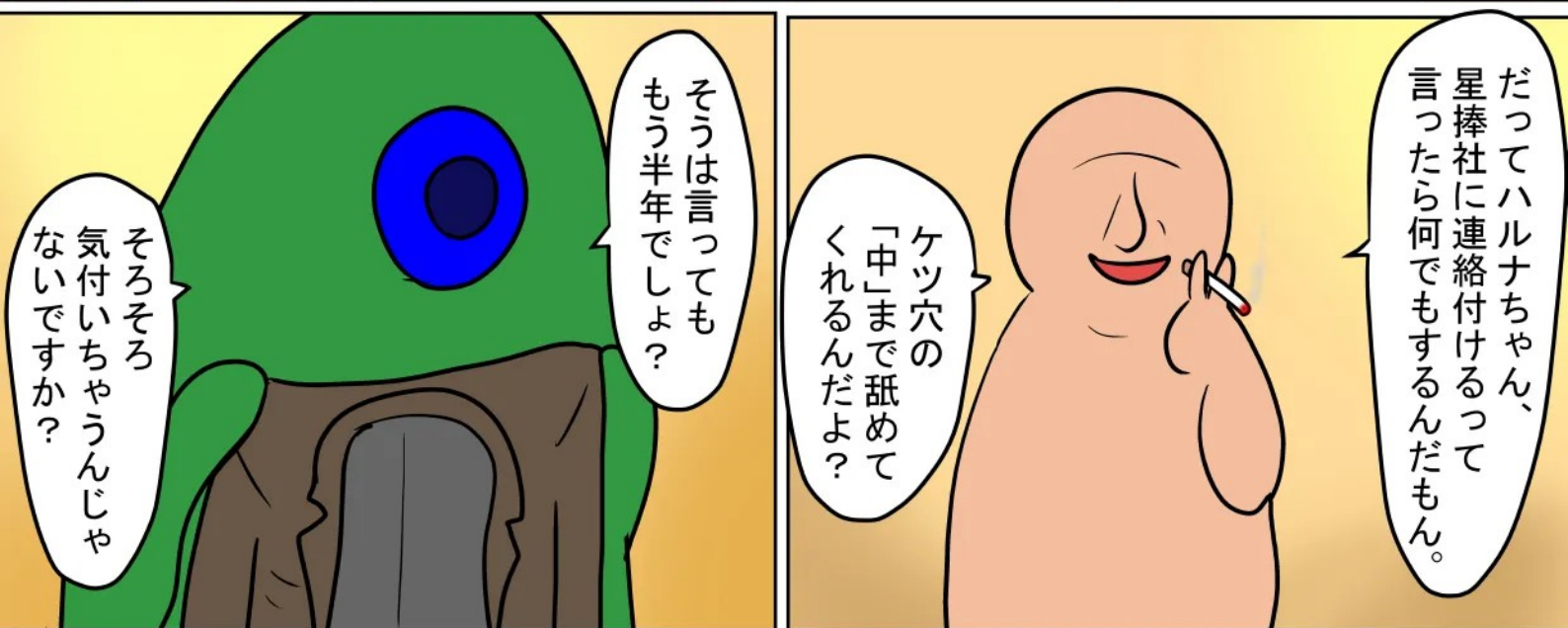
手放すわけにはいかなかった。





虐待用の奴隷娼婦相手に
よくやりますねえ……

今日も
恋人プレイですか？

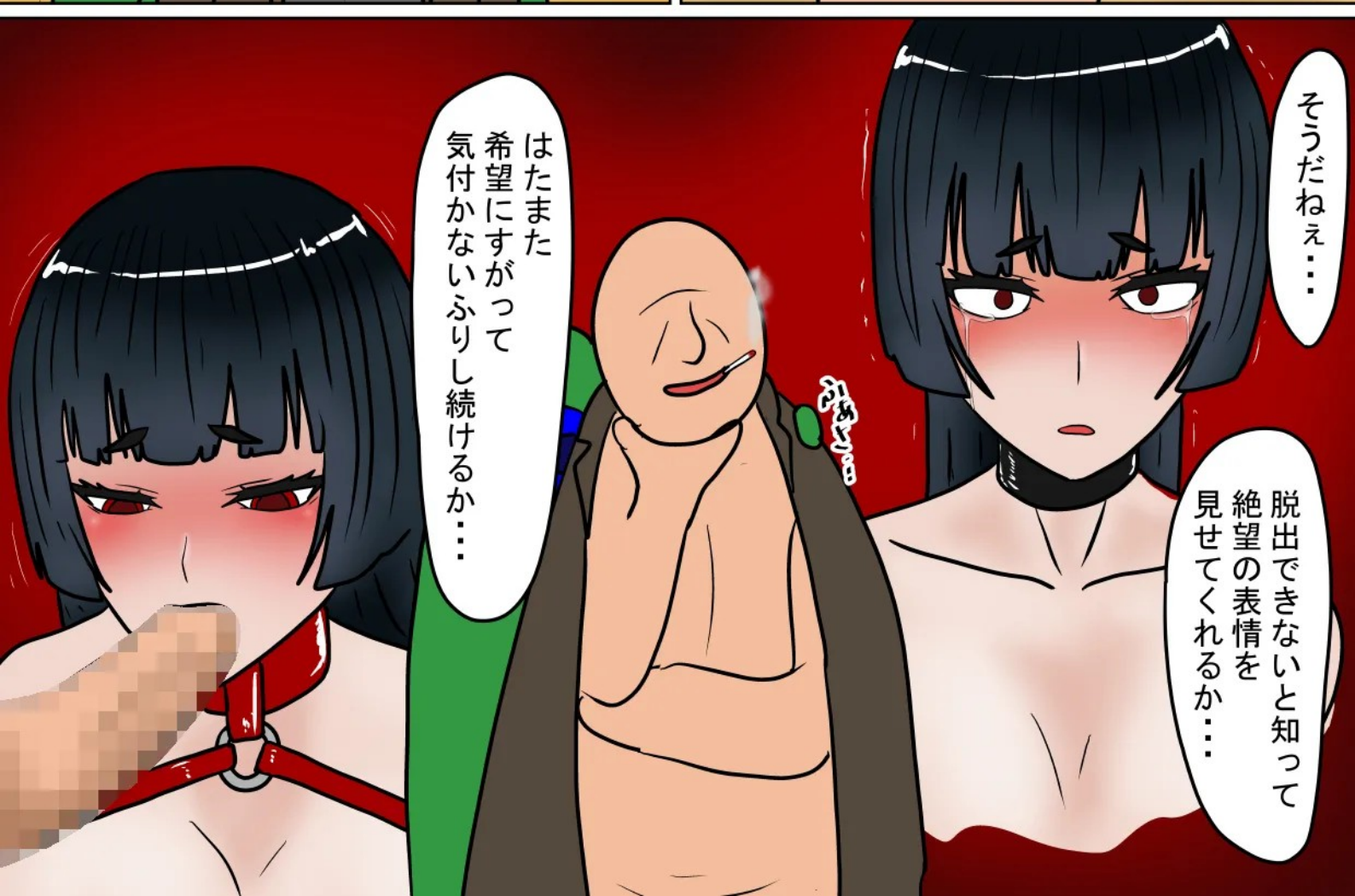


だってハルナちゃん、
星捧社に連絡付けるって
言ったら何でもするんだもん。

ケツ穴の
「中」まで舐めて
くれるんだよ？

そうは言っても
もう半年でしょ？

そろそろ
気付いちやうんじや
ないですか？



そうだねえ……

脱出できないと知って
絶望の表情を
見せてくれるか……

はたまた
希望にすがって
気付かないふりし続けるか……

どっちに転んでも
まだ楽しめるでしょ？

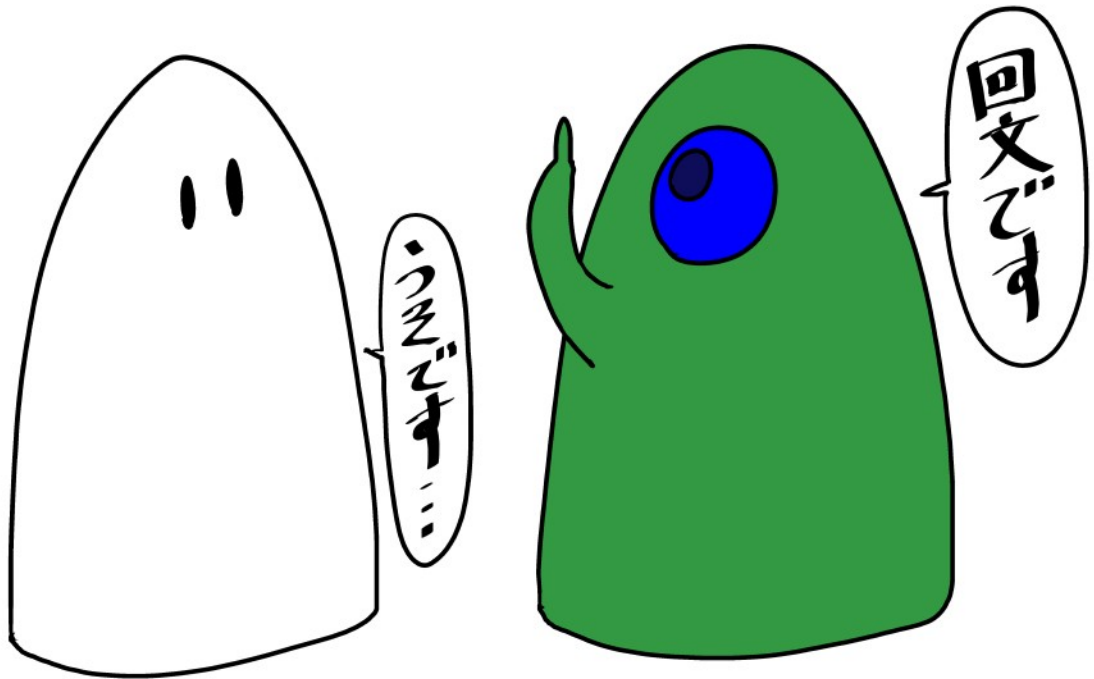
人間同士なのに
やることえげつないなあ

あははははははは

ははははははは

終...

おはい かいぱい、
ちはい もいぱい。



2025/4/29 科Y総研



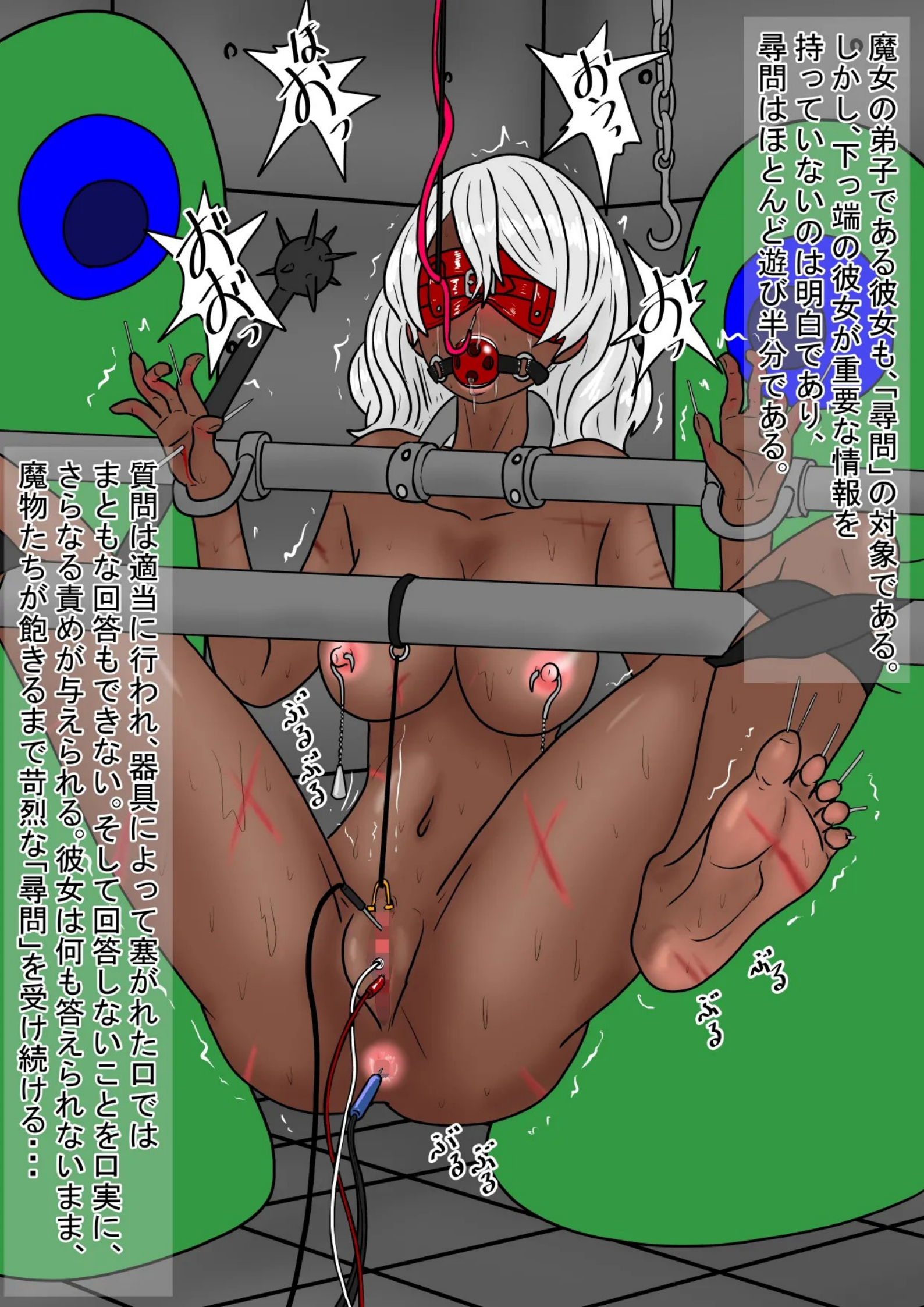
リリー・ミューネ
魔女の弟子
冒険者ギルド壊滅前は
受付嬢も務めていた。
ハルナと供に帝国の
治安部隊に拘束され、
尋問を受けることに...

本編に入れられなかった
リリーちゃんの拘束後の
お話です。



魔女の弟子である彼女も、「尋問」の対象である。
しかし、下っ端の彼女が重要な情報を持っていないのは明白であり、
尋問はほとんど遊び半分である。

質問は適当に行われ、器具によって塞がれた口では
まともな回答もできない。そして回答しないことを口実に、
さらなる責めが与えられる。彼女は何も答えられないまま、
魔物たちが飽きるまで苛烈な「尋問」を受け続ける……



尋問が終わると次は。
奴隷娼婦になるための調教が始まる。

抵抗する氣力を奪うための暴行と、
魔物たちの凶悪な性器を受け入れるための拡張。
凶悪な形状の道具が、彼女の穴という穴を
ほじくり返していくいく……





改造は肉体の内部にまで及ぶ。
皮膚に媚薬を浸透させ、
神経の感度を何倍にも引き上げる。
数週間にわたって消化器には
精液が押し込まれ、
精液以外の飲食物を受け付け
ない
体質へと作り変える。

この調教を受けたが最後、
もはや奴隷娼婦以外の
生き方は望めない。

かわいらしく泣き叫ぶ奴隷娼婦は、
すぐに魔物たちからの人気を獲得した。



客がひっきりなしに来るため、
彼女に休憩は与えられない。
気絶するまで蹴られ、痛みと快楽で
無理やりの覚醒を延々と繰り返す。

彼女のもとにも
人間の客がやってきた。

魔物たちからの人気が高く
人間たちが買えることが稀であるため、
ほとんどの場合大人数での輪姦となる。
朦朧とした意識を拳で無理やり引き戻され、
時間いっぱいまで犯され続ける。



極度の疲労、行き過ぎた暴力、
「客」から感染する各種の疾病…
虐待用の奴隷娼婦は簡単に「死ぬ」。

しかし、それは彼女たちにとって終わりを意味しない。
娼館に常駐する回復術師によってすぐさま蘇生が行われる。
奴隷娼婦たちは、客たちが完全に興味をなくすか、
あるいは神が定めた寿命を全うするまで、
決してこの地獄から出ていくことはできないのだ…



予告

地獄の鬼になつたので
拷問してみた8

夏発売予定

